

2016年IAEA核セキュリティ国際会議：コミットメントと行動 大量破壊兵器・物質の拡散に対するグローバル・パートナーシップによる声明

2002年、大量破壊兵器・物質の拡散に対するグローバル・パートナーシップは、2001年9月11日の同時多発テロを受け、テロリストが無実の市民に対して恐怖を呼び起こし、恐るべき犠牲を強いるためにあらゆる手段を準備しているとの認識の下、立ち上げられた。グローバル・パートナーシップは、テロリスト及びそれを匿い、支援する者が、化学、生物及び核兵器、ミサイル並びに関連物資、機材及び技術を取得、開発又は使用することを防止するために開始された。今日、グローバル・パートナーシップは、化学、生物、放射性物質、核兵器（CBRN）の不拡散とそれらを用いたテロの防止の目標を掲げる30メンバーから成る。2002年以来、グローバル・パートナーシップのメンバーは、CBRNセキュリティの分野において200億ドルをはるかに上回る資金を拠出した。

グローバル・パートナーシップの取組の主要な構成要素は、核テロのグローバルな脅威を緩和するための核・放射線セキュリティの分野における資金協力である。グローバル・パートナーシップの核・放射線セキュリティ・サブ・ワーキング・グループは、特に、核物質防護、国境管理、核セキュリティ文化、核鑑識、輸送セキュリティ、条約の履行及び核セキュリティ支援センター（NSSC）における訓練を含め、世界的な核・放射線セキュリティを強化するプロジェクトや活動への継続した資金供与と調整を促進する。また、グローバル・パートナーシップは、IAEA核セキュリティ基金への主要な貢献国であるIAEA加盟国から構成されており、上記プロジェクトの多くはIAEAからの支援で達成された。

グローバル・パートナーシップのメンバーは、世界的な核・放射線セキュリティを強化するための協力を粘り強く続け、世界的な核セキュリティ体制強化におけるIAEAの中心的役割を再確認する。グローバル・パートナーシップは、IAEA核セキュリティ国際会議及び世界中で核セキュリティを促進し強化するという会議の目標を強く支持する。